|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2021第1,2,3 RUTC答えの現場(41)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2021年10月30 ～ 31日　週間祈りカード | | |
| 産業宣教  総会のために祈りましょう(１サム7：1—15) | 伝道学  うまく行かないことが祝福である(マタ16：20) | 核心訓練/— 胎・嬰児両親オンライン修練会 —  1講最初の機会 — 神様のことでセッティング(Ⅰサム1：9—11) |
| 私たちが主のために献金をするということは、ものすごい祝福だ。理由を知って献金しなければならない。総会のためになぜ祈らなければならないのか。サムエルという霊的指導者(総会長)が力を受けたらものすごいことが起こった。  □序論\_三つのことを祈るべき  1.総会長をした方々-ひとつの国（州）を完全に責任を負うように祈り  2.未来教会生かすこと  3.重要なRT生かすこと  □本論\_ミツパ運動が起こる総会であるべき  1.士21:25自分の目に正しいと見えることを行なっていた  1) 14代士師時代  2)ペリシテを通して続いた苦難  3)個人主義  (1)創3:4-5  (2)創6:4-5  (3)創11:1-8  2.すべての民がみことばの前に立ったミツパ運動  1)全国民の連合、ワンネス  2)すべての偶像取り除く  3)ただ主を待ち望む運動  3.わざわいを止めることが起こった  1)サムエルが生きている間、戦争が終わった(14節)  2)サムエルを見た者は主を信じた(15節)  3)サムエルが幼いときに受けた恵みがダビデに伝えられた(Iサム16:13)  □結論  1.福音のためにした献身-御座の祝福  2.福音のためにする祈り-時空超越  3.福音のためにささげる献金- 237光の経済  △237か国に次世代をいやしてサミットにするところに献身しなさい。それが光の経済だ。献金は祈りで準備しなければならない。神様が世界を生かす総会としてくださるように総会のために祈りなさい。 | ペテロがキリストを告白したが、イエス様が大きな祝福をされた後に、出て行ってまだ話してはならないと言われた。その理由は、変貌山で考えが変わらなければならず、カルバリの丘事件を見るべきであり、オリーブ山のその内容を聞かなければならないためだ。マルコの屋上の間の働き、アンテオケ教会の準備がなければならないためだ。それゆえ、みなさんが今、うまくいかないことは祝福だ。  1.私を新しくする機会  1)マタ16:16告白した者  2)Ⅱコリ5:17新しい被造物  3)ガラ2:20もはや私が生きているのではない。滅びる私は十字架につけられ、キリストが中に生きておられるのだ。  創1:27回復-私の中にある神様の御座  創2:7回復-私の中にある時空超越の力  創2:1-18エデンの祝福回復-私の中にある光  △これが救い(Iコリ1:18救いは神様の力)  2.祈りを新しくする機会  1)ただキリスト  2)ただ神の国  3)ただ聖霊  上から私に与えられる御座、時空超越、光の祝福を受けることが祈り  3.伝道を新しくする機会  1)残りの者  2)巡礼者  3)暗やみに勝つ征服者  私が動く現場に現れる御座(マタ28:20、マコ16:19-20、使1:8)が伝道 | 私の考えを神様の考えによって変えなければならない。長い間答えがなかったハンナが、ある日、神様の考えをするようになった。神様が答えられたが、その息子がサムエルだ。今は胎嬰児両親と子どもたちが神様のことによってセッティングする最初の機会だ。  □序論\_違うことでセッティングされたのが霊的に子どもに伝えられる。  1.目に見えない欲(創3、6、11すべてを私中心に考え)  2.目に見える欲(使13、16、19目に見えるすべてのこと、コロ3:5むさぼりも偶像)  3.(霊的)無気力(6つの状態にあること)  □本論  1.一人で上のことセッティング－神様と通じて上から与えられる力を受けるべき  上から与えられる祝福－使1:3御座の祝福、使1:8時空超越、  使1:1キリストの光  考え、心、脳、たましい、からだ、現実、現場を一つにする生命線  －祈り(霊)、呼吸(肉)  これをもって霊肉ともに毎日力を受けるべき  2.子どもといっしょに私の中にあることを生かすべき  創1:27神のかたち、創2:7いのちの息、  創2:1-18エデンに与えられた真の幸福回復  この祝福をいっしょに味わえば永遠に行く。  一週間に一回以上は必ずしなさい。  これが子どもたちに伝えられる。  3.夫婦といっしょに神様のことでセッティングすべき  私、教会、職業に備えられた空前絶後の祝福を見つけ出しなさい。  必ず一回は家族礼拝(家族修練会)をしなさい。  このとき、ものすごいことが発見できる。  □結論\_三つをセッティングする祈り始まり  1.朝－すべてを変える準備祈り  (吸う息+「三位一体の神様で満たされるように」、止め、吐く息でやさしく切れることなく呼吸)  2.昼－すべてを祈りに変える常時祈り  (下腹に力が常に入った状態)  3.夜－いやす深い祈り  (静かに、ゆっくり、長く、やさしく、深く-止め呼吸状態を長くすること)  △胎嬰児は両親によってすべてのことが伝えられる。それゆえ、今回の機会にみなさんが完全に力を受けなければならない。当然、神様が与えられた恵みを持って進めるのだ。 |
| 2021第1,2,3 RUTC答えの現場(41)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2021年10月30 ～ 31日　週間祈りカード | | |
| 聖日1部礼拝/ 総会主日  教会を回復せよ (Ⅰ歴 29:10-14) | Remnant礼拝  ダビデの人生旅程 (詩 23:1-6) | 聖日2部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝  宣教できる人 (Ⅰサム 20:1-11) |
| □序論\_福音を知れば祈りが見える。祈りが見えれば全世界が見える。  1.これを分からないから、イスラエルの民が奴隷になって、続けて戦争にあって捕虜、属国、苦しみにあう  2.これをなくしたカトリック教会  －回復させたマルティン・ルター(ロマ1:16-17)  3.これをのがした教会－その結果、まったく伝道訓練ができない237多民族指導者、最初から入れない5千種族、教会の90%未自立、霊的奥義を知らずに違うこと、間違ったことだけしている信徒、争いだけする信徒と教会の現実  □本論  1.回復-このとき、福音、祈りが何かを知って世界を見たサムエルとダビデ  (Iサム3:19、Iサム16:13)  1)福音とは何か(キリスト)－3つののろいを砕いてしまった福音が分かれば最高の価値となる。これを知る人は祈りが何か分かるようになる  2)祈りとは何か  (1)御座の祝福が時空を超越して237に光を照らす、この中に私がいることになる－霊的プラットフォームになること  (2)私の中に神のかたちと礼拝の時ごとに神様が私に吹き込まれるいのちの息が生かされて、聖霊の満たしの力が与えられ、エデンの園を回復するようになる答えが私に来る－この奥義が生かされれば霊的に通じる霊的タワーになる(Watchtower見張り人)  (3)このとき、世界が見える。これを空前絶後－これになれば霊的アンテナになる  3)これをサムエルが持った－このサムエルの一言も地に落ちない答えが!これは、すべての祈りに答えられたということ。これは、すべての祈りが答えられるしかなかった中で進んだということ  2.伝達－これを伝達した  1)それがミツパ運動  2)これがダビデに伝達(Iサム16:13、神殿準備の祝福を受ける)  3)みなさんがこれを必ず回復すべき。本当に祈りの祝福を見た人は、違うことに価値がない。その体験をすべき。これになったサムエル1人が出てきたので、ダビデに伝わり、このダビデが世界を生かした  3.わざわいを止める答え－世界のわざわいを止めた。  1)イスラエルのわざわい　2)教会のわざわい  3)次世代のわざわいを止めることが起きた  △福音とは何か、祈りとは何か、全世界とは何かセッティング(setting)されなければならない。これができなければ未信者のお使いとサタンのしもべをする。世の中を引っ張っていかなければならないのに引きずられて行く  □結論\_ 5千種族、237か国に完全に福音がない  1.神学を全くしない237の牧師がいっぱい  2.伝道しないのに、5千種族の門を妨げる牧師  3.福音を全く分からない次世代  △それゆえ、改革側にいる牧師たちが答えだ。こうしたところに総会長をたてて伝道の門を開くようにするということ。祈りが何か分かれば祈れば良い。祈り始めなさい。本当に答えを受けなければならない。 | 福音、祈り、世界　　　　味わう  □序論\_ダビデが祈るたびに味わった内容  祈るとき  1、3、8 (Trinity)  この祝福を祈るとき3超越  (御座、時空超越、237の光)が私の中に臨むようになる  3生き返らせる  (創1:27、創2:7、創2:1-18)。これが生かされる。  これが祈り  3空前絶後-ここからRemnantの学業が出てくる  △祈るその時間に  1.主は私の羊飼い  2.私が祈るとき、私を緑の牧場に導かれる  3.いこいの水のほとりに導かれる  4.私のたましいを生き返らせてくださる  5.義の道に導かれる  5.主の杖とむちで私を保護される  6.敵の前で上から油を注がれる(勝利させて  くださる)  7.主の家に永遠に住まいましょう(平安)  CVDIPの答えにつながる  □本論  1. 刻印-Remnantのときに刻印されることがすべてだ(詩78:70-72)  1)みことばの力　2)祈りの力　3)賛美の力  4)羊を飼う技能－ある日、ゴリヤテの頭を砕いてしまう  5)未来に対するタラントをあらかじめ与える-「羊を育てる者から、民を育てる者」に!  2.現場に行って事件に会えば根を下ろして実を結ぶようになる(詩23:1-6)  1)ゴリヤテとの出会い－技能とタラントで勝つようになる  2)逃亡者－すべての実はこのとき、みな結んだ。  3)死の危機－このとき、実はすべて結んだ。  3.刻印、根が体質化されて運命を左右する。国と時代の運命を変えるようになる  1)サウル王を殺すことができる機会－御座の祝福が恵みで臨んだ(運命を変える最初の機会)  2)アブシャロムの裏切り－アブシャロムを殺すなとお願いして避けて逃亡(運命を変える二番目の機会)。ここではとても重要な未来を準備した  3)神殿準備-永遠という機会を握った  □結論\_祈りの時刻表  1.詩5:3 (ダビデの朝の祈り) -目を開けば祈り始めなさい(1分)、ある日、ものすごいリズムになる。  2.詩23:1-6 (ダビデの昼の祈り) -葛藤にもθは杖とむちで守られる。常時祈りだ。  3.詩17:3 (ダビデの夜の祈り) - 「神様が夜、私を問いただされました」(私を見て回られるという意味)、「夜に私を調べ」(私を調べられるという意味=力を与えられるという意味) | △宣教しようとすれば、先に福音が何か知らなければならない。福音を本当に知れば、祈りが何か知るようになって、そのとき、世界が見える。この人が宣教することができる。  □序論  1.ヨセフ、モーセ、捕虜、属国-θが、イスラエルが世界宣教を分からないからヨセフとモーセを送られて、彼らは捕虜となって属国となった  2.ダビデ－ヨナタン、一番助けない人でありえたが、ダビデが世界福音化することができるように助けた人物  3.パウロ－福音を悟った初代教会はパウロのような人物によって世界福音化をした  △一般信徒宣教で必ず記憶しなければならないこと  1.非対面宣教戦略－3団体ではすでに非対面戦略をもって世界を掌握している  2.237、5000種族に福音を持つ人材を見つけて育てなければならない  3.聖書で一番重要な単語が残りの者、散らされた者、旅人、隠された者。  はやく237にこのような人々を見つけ出して、呼び入れて、派遣しなければならない。  △この宣教を分かるすべての重職者の財産は、神様が責任を持ってくださる(ロマ16:25-27)  □本論  1.エッサイの器－ものすごい宣教の準備  1)詩78:70-72羊飼いだったとき、賛美、みことば黙想、ゴリヤテに勝つ技能、王として指名を受ける  2)Iサム16:1-12サムエルが油を注ぎに来たとき、エッサイがダビデを紹介  3)Iサム17:18戦争が起きたが、ダビデにしるしを持って来るようにお使いに送る  2.サムエルの伝達  Iサム16:13この日以来、ダビデに主の霊が激しく下った  1)福音の中にある3超越(御座、時空超越、237光)が入っていく-これをプラットフォームとなるように  2)隠された3タワー－創1:27、創2:7、創2:1-18  3)このとき、アンテナが出てくる－三つの空前絶後が出てくる。私の中にあることと神様のことがぴったりつながる。これが通じてアンテナになる  3.ヨナタンの助け  1)決定的助け－決定的な時間にダビデが逃げるように助けてくれた。  2)現実的助け－「あなたの言われることは、何でもあなたのためにしましょう。」  3)未来を生かす助け-最高の宣教  □結論\_ 「次世代システム」を備えなさい!!  △胎嬰児から始めてRemnantサミットまで次世代システム備えて始めなければならない。  1.237多民族が来ることができるように準備しなさい。  2.いやし-まだ行くことができない多くの237か国、5千種族をいやさなければならない。福音が何か、祈りが何か分かってこそいやしになるのだ。  3.サミット-彼らを正しいサミットにしなければならない。 |